

第26回 近現代の地域・日本と世界

列強の東アジア進出は日本に
どのような影響をもたらしたのだろうか？
(近代社会の幕開け)

講師 玉谷直子

学習のねらい

産業革命により生産規模を拡大した列強が東アジアに進出し、日本に自由貿易を求めようになったことを理解する。アメリカの開国要求を受け、日本が開国した背景を理解する。列強との貿易により、日本の経済が世界の市場とつながり、新たな展開を見せたこと、政治情勢にも影響を与えたことを理解する。

キーワード

自由貿易、
世界の市場とつながる、
開国、開港、日米和親条約、
安政の五か国条約、生糸、
綿糸、安政の大獄、
桜田門外の変

れつきょう
列強の東アジア進出

19世紀には西ヨーロッパの国々やアメリカ合衆国でも産業革命がおこり、資本主義の社会は広がりをみせた。この時期に産業革命により生産規模を拡大した国々は列強と呼ばれ、その経済力や軍事力を背景に、大量の商品を売るための海外の市場や、大量生産するための原料・資源の獲得をめざして、しだいにアジアやアフリカ、ラテンアメリカ各地に進出するようになった。

なかでも、イギリスは、1833年までに東インド会社の商業活動を廃止するなど、自国の工業製品の販売拡大をめざし、自由貿易主義政策をとるようになっていた。イギリスは、アヘン戦争に勝利すると、1842年に清と南京条約を結び、上海など5港を開港させたが、そこでは従来の公行を通じた制限貿易ではなく、自由貿易を行えるよう取り決めた。これにより、清はイギリスとの自由貿易を通じて、世界経済の一部に組み込まれていった。

幕府は、清がイギリスに敗北したという情報を得て危機感を強め、1842年に異国船打払令を撤回し、薪水給与令を出した。しかし、1844年にオランダ国王から開国をうながす勧告を受けても、従来の外交方針を転換することはなかった。

ペリー来航

1853年にアメリカ合衆国の東インド艦隊司令長官ペリーが、4隻の軍艦をひきいて浦賀に来航すると、老中首座阿部正弘は、朝廷に報告し、諸大名らに意見を求めた。さまざまな意見が錯綜する中、幕府は1854年、日米和親条約を結び、下田と箱館を開き、船舶の寄港を許し、領事の駐在を認め、アメリカ船への薪水、食料などを供給すること、難破船員を救助すること、アメリカに対して一方的な最恵国待遇を与えることなどを取り決め、開国した。

1856年に下田に着任したアメリカ総領事ハリスとの交渉をへて、1858年、大老井伊直弼は、勅許をえないまま、日米修好通商条約に調印した。日米修好通商条約では、新たに、神奈川、長崎、新潟、兵庫を開港する（神奈川開港の6か月後に下田を閉鎖）こと、江戸、大坂を開市すること、自由貿易を始めること、開港場に居留地を設けて外国人の内地旅行を制限することなどが定められた。また、アメリカに領事裁判権を認めること、日本の関税自主権を認めない協定関税制をとることなどの条項が含まれ、日本に不利な不平等条約であった。幕府は、ほぼ同内容の条約を、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも結び（安政の五か国条約）、列強との自由貿易を始めることとなった。

開港とその影響

1859年6月に始まった列強との貿易では、最大の貿易港は横浜、相手国はイギリスであり、主な輸出品は生糸、茶、輸入品は毛織物、綿織物などの繊維製品であった。当初は輸出超過であったが、1866年の改税約書により輸入関税が引き下げられると、1867年以降は輸入超過となった。

貿易の開始は、大量に輸出されるようになった生糸が、産地から直接開港場に持ち込まれるようになるなど、流通機構に変化をもたらした。これは、米や大豆、灯油などの価格の上昇につながり、人々の暮らしを圧迫した。

また、良質で安価な外国製の綿製品や砂糖が大量に流入したため、国内の綿花栽培や製糖業は大きな打撃を受けて衰退した。一方、織物業者たちは、輸入綿糸を使って輸入綿布に対抗して織物業を維持しようとした。こうして、開港により、世界の市場とつながった日本では、それまでの経済の仕組みが次第に解体され、新たな経済の仕組みが生まれることとなった。

さらに、通商条約調印後、尊王論や攘夷論が高まり、それが13代将軍の跡継ぎをめぐる対立と結びつき、幕府を批判する動きが強まると、大老井伊直弼は安政の大獄により反対派を弾圧したが、桜田門外の変により殺害され、幕府の専制的な政治は崩れていった。

- 🌱 ペリー来航を伝える資料を探して、当時の人々がペリーの来航をどのようにとらえていたのかを考えてみよう。
- 🌱 貿易の開始により、綿花栽培や製糖業のように衰退してしまった産業と織物業のように状況の変化に対応して生き残った産業があったのはなぜか、説明してみよう。また、この後、日本では、どのような産業が発達するのか、仮説を立ててみよう。

“探究”してみよう！